

# 食と緑の新城設楽地域 レポート 2022

—食と緑が支える豊かな暮らしをめざして—  
(2021年度 of 取組報告)



令和4年8月

新城設楽農林水産事務所



## 目 次

1	食と緑の新城設楽地域レポート作成の趣旨	1
2	重点推進事項と目指す姿【目標】	2
3	重点推進事項ごとの主な取組事例	3
	(1) 新型コロナウイルス対策	3
	(2) 意欲ある人材の確保・育成	5
	(3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実	6
	(4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進	9
	(5) 災害に強く安全で快適な環境の確保	11
	(6) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現	13
4	地域の特徴的な取組事例	14
5	目標達成状況	17

【表紙の写真】鞍掛山麓四谷千枚田保存会 小山舜二会長 撮影

## 1 食と緑の新城設楽地域レポート作成の趣旨

愛知県は、安全で良質な農林水産物が将来にわたり確保され、また、森林や農地等の有する多面的機能の発揮により安全で良好な生活環境を実現するための「食と緑が支える県民の豊かな暮らしづくり条例」（以下「条例」という。）を平成 16 年 4 月に施行し、その理念を実現するための基本計画「食と緑の基本計画」（以下「基本計画」という。）を平成 17 年 2 月に策定しました。

その後、令和 2 年 12 月には、第 4 期計画である「食と緑の基本計画 2025」を策定し公表しました。

新城設楽農林水産事務所では、この基本計画の目指す姿の実現に向け、新城設楽地域の特徴と課題を踏まえ、新城設楽地域重点推進プラン（以下「地域プラン」という。）を令和 3 年 1 月に策定しました。

地域プランでは、令和 7 年度（2025 年度）までに取り組む項目を「6 つの重点推進事項」にまとめ、それぞれに「目指す姿（目標）」を設けて、その目標達成のための取組等を明示しており、基本計画の推進と共に地域として重点的に推進します。

この「食と緑の新城設楽地域レポート」は、地域プランの進行管理の一環として、地域プランの重点推進事項を的確に推進するために毎年度作成するもので、2022 年版では、令和 3 年度(2021 年度)の取組状況等と年度目標に対する達成状況を取りまとめています。

## 2 重点推進事項と目指す姿【目標】

### (1) 新型コロナウイルス対策

- ①農業経営改善計画及び青年等就農計画策定（変更含む）の支援【137件/5か年】
- ②生産施設整備等への支援【75件/5か年】
- ③木材生産における需給調整を効率化するための会議開催【3回/毎年】

### (2) 意欲ある人材の確保・育成

- ①新規就農者数【35名/5か年】
- ②新規林業就労者数【35名/5か年】

### (3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実

- ①新技術の導入又は技術の改善件数【8件/5か年】
- ②林道の整備延長【42.3km/5か年】
- ③県産木材年間生産量【104,000 m<sup>3</sup>/5年後】
- ④農業生産基盤等の整備更新受益面積【58ha/5か年】
- ⑤鳥獣被害対策受益面積の拡大【235ha/5か年】

### (4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

- ①いいともあいち推進店のPR【24回/毎年】
- ②農林漁業体験やイベント、食育活動等の実施【21回/毎年】

### (5) 災害に強く安全で快適な環境の確保

- ①治山対策面積【825ha/5か年】
- ②農業用ため池の整備か所数【4か所/5か年】
- ③あいち森と緑づくり事業の防災・減災による公道沿い森林整備か所数【2か所/毎年】

### (6) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現

- ①中山間地域等直接支払交付金を活用した集落戦略の実践に向けた取組【102集落/毎年】
- ②各種イベントの情報発信【4回/毎年】
- ③道の駅など地域拠点における年間集客数の確保【1,193千人/5年後】

※網掛けが設定されている目標は、次ページ以降に具体的な取組事例を掲載しています。

※取組事例に記した課名は、主体的に取り組んだ担当課名を表示しています。

### 3 重点推進事項ごとの主な取組事例

#### (1) 新型コロナウイルス対策

生産施設整備等への支援【 目標：75件 / 5か年 】

農政課

#### 【取組内容】

新型コロナウイルス感染症により、農林水産業においては消費低迷の影響を大きく受けました。今後、同様の不測の事態が発生しても影響を最小限に抑えるため、新たな機器の導入や施設整備で、各産地の生産体制を強化していく必要があります。

#### 【取組成果】

山間地営農等振興事業により、山間地における農林漁業経営の近代化のための機器の導入や施設整備に対する支援を行っており、令和3年度は、右表の6件に対する支援を実施しました。

市町村	事業内容
新城市	茶乗用型中切機 1台
新城市	家畜運搬車 1台
新城市	乗用田植機 1台
新城市	ほうれんそう加工処理機械 1式
東栄町	グラップル付きトラック 1台
豊根村	チョウザメ養殖水槽 4基他

#### 【今後の取組】

引き続き、地域の要望を踏まえ、コロナ禍の終息後も見据えた計画的な支援を進め、各産地の生産体制の強化を推進します。



茶乗用型中切機



チョウザメ養殖水槽

## 木材生産における需給調整を効率化するための会議開催【目標：3回 / 年】

林業振興課

### 【取組内容】

北設楽郡においては、町村、森林組合及び県等を構成員とする「原木安定供給に向けた木材生産・流通協議会」を設け、ICT(情報通信技術)を活用した木材の生産流通の合理化等に取り組んでいます。令和3年度は、木材生産現場の日報等をICT化し、投入人工数や木材生産量を一元管理し、生産性向上と出荷情報発信に活用する「生産工程管理システム」を試験的に導入したことから、本格導入に向け、システムの問題点や改善点等を協議会において会議を開催し検討しました。

### 【取組成果】

会議は、令和3年7月6日、令和3年10月13日及び令和4年2月22日の3回開催しました。実際に現場に携わる森林組合の担当者から、生産工程管理システムの「日報アプリ」を使用して感じた使い勝手や不具合等について、率直な意見を出し合い、本格導入に向けた改善点を整理しました。

### 【今後の取組】

整理した改善点に基づきアプリを改修するとともに、木材生産の需給調整を効率化するため、引き続き、関係者との意見交換を行っていきます。



協議会会議の開催状況



日報アプリ入力画面



## (2) 意欲ある人材の確保・育成

新規就農者数【目標：35名 / 5か年】

農業改良普及課

### 【取組内容】

中山間地域では、農業の担い手の減少・高齢化が著しく進んでいます。

農業改良普及課では、地域の農業基盤を維持し、産地振興を図るため、関係機関・団体と連携して新たな担い手の確保・育成に取り組んでいます。具体的には、新城設楽地域担い手育成総合支援協議会(※)及び各生産者組織(トマト、ミニトマト、イチゴ、ハウレンソウ)と連携しながら、就農希望者が計画的に管内で就農できるよう支援しています。



就農相談会の面談

(※) 構成員：市町村、JA愛知東、(公財)農林業公社しんしろ、県等

### 【取組成果】

就農林相談会(2回)、新城市アグリチャレンジ相談会(3回)及び現地説明会(4回)に参画するとともに個別相談に応じ、延べ126件の相談に対応しました。

また、研修機関で農業技術の習得に取り組む3名に対して農業次世代人材投資資金(準備型)の申請手続きを支援しました。さらに計画的な営農に向けた青年等就農計画の作成指導や、経営資金借入に必要な資金利用計画の作成支援を行いました。

令和3年度の新規就農者数は18名でした。

### 【今後の取組】

関係機関と連携を取りながら、就農相談を行い、新規就農者を確保していきます。

また、就農予定者等が計画的に就農できるよう、農業次世代人材投資資金(準備型)の申請や青年等就農計画等の作成に対する支援を行います。

### (3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実

新技術の導入又は技術の改善件数【目標：8件 / 5か年】

農業改良普及課

#### 【取組内容】

水稲品種「ミネアサヒ」は愛知県の育成品種で主に中山間地域で栽培されており、良食味のブランド米として知られています。しかし、中山間地域で発生が多い病害「いもち病」に極めて弱く、薬剤防除が必要不可欠で、収量及び品質が不安定になることが農業経営上の課題でした。

こうした中、「ミネアサヒ」の良好な食味を維持しつつ、「いもち病」への抵抗性を飛躍的に向上させた水稲新品種「ミネアサヒSBL」が愛知県農業総合試験場で育成されました。

そこで、水稲新品種の食味向上と収量確保を両立した栽培技術の確立や管内への円滑な導入に取り組みました。

#### 【取組成果】

平成27年度から新城市の山間地域を中心に新品種の展示試験を行い、その結果から病害に強く、従来品種と同等の収量、品質、食味であることが確認できました。

これを踏まえ、令和3年度は管内の450.6ha（推計値）で新品種が導入されました。また、作手地域では栽培基準を見直しました。



作業用のドローン

#### 【今後の取組】

JA愛知東、農業者と連携して「ミネアサヒSBL」のブランド力の向上を目指すとともに、ドローンによる空撮調査を取り入れた水稲の生育状況確認技術の導入や、良好な食味を維持しつつ安定的に収量を確保するための栽培技術の確立もあわせて行います。



## 林道の整備延長【 目標：42.3km / 5 か年 】

林業振興課

新城林務課

### 【取組内容】

森林を適切に管理し、健全な状態を維持するためには、森林へアクセスするための林道が不可欠です。また、林業の採算性向上のためには、機械化による生産コストの低減や、トラック等輸送手段の大型化による輸送コストの低減が必要であるため、林道の役割は一層重要なものとなっています。さらに、林道は、山村地域の生活道や、災害時の緊急避難路としての役割も果たしています。

そこで、林道の開設を計画的に実施するとともに、既設林道の安全性と機能向上を図るため、改良や舗装を実施しています。

### 【取組成果】

令和3年度は、中口尤線ほか5路線2.8kmを開設しました。また、法面の保全工事など3.0kmの改良事業や6.1kmの舗装工事を実施しました。

### 【今後の取組】

引き続き、国の補助金を活用するなどして計画的に林道の整備を進めていきます。



過疎山村地域代行林道事業  
西園目御園線2工区工事（東栄町）



小規模林道事業（改良）  
三都橋線（設楽町）

農業生産基盤等の整備更新受益面積【 目標：58ha / 5 年 】

建設課

【取組内容】

新城設楽地域では、中山間地の地形的な農業生産条件の不利性に、農業従事者の減少・高齢化の著しい進行もあいまって、農業用排水施設等の生産基盤の整備・更新が十分でない農地では耕作放棄地が増加し、周辺農地に悪影響を及ぼすおそれがあります。

このため、国の補助金を活用して、区画が狭小な農地や老朽化した農業用排水施設等の整備・更新を実施し、農業生産性、用水の安定供給や良好な排水条件を確保することによって、耕作放棄地の増加と耕作放棄に伴う悪影響を防止します。

【取組成果】

令和3年度は、新城市内において取水堰1箇所の一部の整備、設楽町内において水路0.5km、排水路0.6kmの整備を実施しました。

【今後の取組】

引き続き、国の補助金を活用して、農業用排水施設の整備・更新を推進します。



取水堰の整備（新城市布里地区）



水路の整備（設楽町田峯地区）

#### (4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

いいともあいち推進店の PR 【 目標 : 24 回 / 毎年 】

農政課

##### 【取組内容】

いいともあいち運動は、県民の方に、愛知県の農林水産業の応援団になってもらい、消費者と生産者が一緒になって愛知県の農林水産業を支えていこうという運動です。また、愛知県産農林水産物をもっと食べていただきたい、利用していただきたいという「愛知県版地産地消の取組」でもあります。

この運動の中で、県産品の販売や利用に力を入れるスーパーや飲食店に対し「いいともあいち推進店」への登録を呼びかけています。

##### 【取組成果】

令和3年度では、22店舗に対し「いいともあいち推進店」への加入を働きかけ、5件の店舗が新規に加入しました。推進店にはシンボルマークの「あいまる」がプリントされたのぼり旗などを提供しました。

なお、令和3年度末の登録店舗数は37店舗となっています。



「あいまる」のぼり旗

##### 【今後の取組】

引き続き、「いいともあいち推進店」への新規加入の促進、管内の「いいともあいち推進店」を明示したマップの配布、SNSを活用したイベント情報の発信などを行い、いいともあいち運動を広める活動に取組み、県産農林水産物の消費拡大を進めていきます。



推進店の地元農産物直売コーナー

農林漁業体験やイベント、食育活動等の実施【目標：21回 / 毎年】

林業振興課 新城林務課

【取組内容】

本県では、戦後に植えられたスギ・ヒノキの人工林が成長し、木材として利用できる時期に達している面積は約80%となっています。木材が利用されず間伐や伐採が進まなければ、やがて森林は荒廃し、森林の多面的機能が失われてしまいます。

そこで、小・中学校や高校などと協力して間伐体験などを開催し、児童・生徒を含め広く地域住民の森林や林業への関わりや関心が高まるよう取り組んでいます。

【取組成果】

令和3年度は新城市立作手中学校において、間伐体験～製材所見学～木工教室と木材の生産から利用までの一連の流れを体験してもらう出前講座を行いました。出前講座は、6月に森林に関する事前学習、7月には学校林でヒノキの「間伐体験」、11月にはその間伐したヒノキが製材されるまでの「製材所見学」、3月にはその製材された木材を使って傘立てとプランターカバーを製作してもらう「木工教室」を行いました。参加した生徒から、林業に興味を持ったこと、改めて森林の大切さに気付いたこと等の感想をいただきました。

【今後の取組】

引き続き、小・中学校などへ出前講座に出向き、身近にある森林や林業の理解を深められるよう取り組んでいきます。



間伐した丸太を運び出す様子



間伐材で製作したプランターカバー



## (5) 災害に強く安全で快適な環境の確保

治山対策面積【 目標：825ha / 5 か年 】

森林整備課

新城林務課

### 【取組内容】

治山事業では、山地に起因する災害を未然に防止するため、荒廃溪流には谷止工や流路工等を、山腹崩壊地には土留工や吹付工等を、落石危険箇所には固定工や落石防護工等の施設を整備しています。特に、ダム上流や集落の生活用水等の水資源の確保上重要な水源地域においては水源地域整備事業を、山地災害危険地区の密集地などにおいては山地災害重点総合対策事業を、それぞれ地区指定事業として実施し、集中的に整備を進めています。



落石対策 固定工（新城市）



谷止工（東栄町）

### 【取組成果】

令和3年度は水源地域整備事業を新城市で1地区、北設楽郡豊根村で2地区、山地災害重点地域総合対策事業を北設楽郡東栄町と豊根村の一部を含む1地区で実施しました。このほか復旧治山事業や予防治山事業等のその他の事業による荒廃溪流や崩壊地の復旧とあわせ、新城市で69.85ha、北設楽郡で128.71haの区域において防災機能の向上が図られました。

### 【今後の取組】

市町村と連携して地元調整を図り、地区指定事業等を活用して効果的に治山事業を進めていきます。

また、山地災害危険地マップやパンフレット等を市町村に配付し、治山施設の役割などをPRして、防災意識を高めることにも取り組んでいきます。

農業用ため池の整備か所数【 目標： 4 か所 / 5 か年 】

建設課

【取組内容】

農業用ため池は、農業用水の供給だけでなく、自然環境の保全、水辺景観の形成、降雨時の洪水調節や土砂流出の防止などの多面的な機能を有しています。

一方で、これらのため池のなかには、堤体の耐震性能や洪水吐の能力が不足し、大規模地震や豪雨によって決壊するおそれがあるため池もあります。

このため、国の補助金等を活用し、堤体の改修や補強、洪水吐や取水施設の整備を実施することによって、決壊による農地・農業用施設、公共用施設、住宅等の被害を未然に防止します。

【取組成果】

令和3年度は、新城市内の農業用ため池3か所において、堤体の耐震補強、洪水吐や取水施設の整備を実施しました。

【今後の取組】

引き続き、国の補助金等を活用し、堤体の改修や補強、洪水吐や取水施設の整備を推進します。



取水施設の整備（新城市富岡東部地区）



洪水吐の整備（新城市富岡東部地区）



(6) 地域住民や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現

各種イベントの情報発信【目標：4回 / 毎年】

農政課

【取組内容】

新城設楽地域は、自然豊かで歴史・伝統文化等、多様な観光資源に恵まれ、また、新東名高速道路の新城ICの開通により、都市部からのアクセスが容易になりました。

また、新型コロナウイルス感染症の発生を受けて、密を避けた屋外観光地への関心が高まっている状況でもあり、当地域で行われる都市と農村の交流イベントや、管内の魅力ある観光資源の情報などをWebを利用して発信し、都市部からの訪問者の増加を目指します。

【取組成果】

当事務所のWebページ「しんせつネット」、愛知県のホームページ、フェイスブックなどにより、計4回（30件）管内のイベントや観光資源の情報を発信しました。

【今後の取組】

都市部からの訪問者を当地域の良き理解者、地域を支える人材として取り込めるように、積極的な情報発信を継続するとともに、都市農村交流の取組を推進します。



茶臼山高原の芝桜（豊根村）



道の駅したら 旧田口線車両（設楽町）

## 4 地域の特徴的な取組事例

### 鉢物のかがり弁ギクの商品性向上

農業改良普及課

#### ◎取組の概要

かがり弁ギクは愛知県が開発した花卉の先端に切れ込みのある華麗な花形が特徴の品種です。新城市のJA愛知東作手花き園芸組合（以下園芸組合）は、本来切り花品種であるかがり弁ギクを県内で唯一鉢物として生産しており、令和元年から4戸の生産者により、栽培が行われています。本年度は、さらなる商品性向上を目指して、新たな仕立て方法や見栄えを良くする鉢を使った試作の支援を行いました。

かがり弁ギクは5号鉢と3.5号鉢の2種類のサイズで生産されています。5号鉢では従来、1鉢に5本の苗を単色で植えていましたが、白、紫、黄の3色の混色植え仕立てを試みました。3.5号鉢では苗物用の黒ビニルポットが使用されていましたが、店頭でよく栄えるカラフルな硬質鉢に入れました。さらに、最大の特徴である花形を際立たせるため、枝数は減りますが花径がより大きくなる無摘心栽培による仕立ても試みました。

#### ◎取組の成果

今回は16種類の試作品をつくることができました。これらの試作品の商品性について取引市場5社に対してアンケートを実施したところ、混色植え仕立ての評価が高いことを確認できました。また、質感の高い鉢を使用することで販売単価が向上することが確認できました。なお、園芸組合におけるかがり弁ギクの総出荷量は、令和2年度の約1万鉢から令和3年度は1万5千鉢に増加しました。



混色仕立て



無摘心栽培

#### ◎今後の展開

試作した中で、混色植え仕立てのように市場から高評価を得たものを本格的に市場出荷するため、生育・開花揃いを向上させる栽培技術を改善するとともに、商品PR等、販売促進のための取組を支援していきます。

## 広域農道 奥三河 2 期地区で「橋面ペイント」のイベント開催

建設課

### ◎取組の概要

農業農村整備事業は、農業生産性を維持・向上するための農地や土地改良施設の整備、農村を含む地域の防災対策、農村の生活環境を改善するための集落排水処理施設の整備等を行う事業です。これらの事業の必要性や効果について県民等の理解を促進するため、事業実施を通じた P R 活動に取り組んでいます。

### ◎取組の成果

令和 3 年 11 月 15 日（月）に「奥三河広域農道」にて、名倉小学校の全児童 33 名を対象とする P R イベントを実施しました。奥三河広域農道が地域農業に役立つ交通施設であることを理解し、興味を持ってもらうことを目的とするイベントで、名倉小学校児童が、奥三河広域農道「第 2 小鷹山上橋」のコンクリート床版をキャンバスにして、「名倉の秋・収穫」をテーマとする絵をアクリル絵の具で描きました。このほか橋梁内部（空洞部）を見学したり、建設機械への乗車を体験したりしました。

平成 6 年度から整備を進めてきた奥三河広域農道は令和 4 年度に全面開通（平成 19 年度に部分開通）し、令和 4 年 5 月 29 日に開通記念式典が開催されました。名古屋方面と奥三河地域を東西に繋ぐ新たな基幹道路として活用されます。



橋面ペイントの様子



建設機械の乗車体験

### ◎今後の展開

引き続き、事業実施を通じて、広く県民等が農業農村整備事業及び農業を理解し身近に感じるような P R 活動に取り組めます。

## あいち森と緑づくり事業による国道 151 号線沿いの森林整備

林業振興課

### ◎取組の概要

北設楽郡内においては、暴風雨や降雪を起因とする、道路沿いの倒木により、道路の遮断や電柱折損及び高圧線の断線等による停電が度々発生しています。そこで、あいち森と緑づくり事業において、公道沿いの防災・減災を目的とした森林整備を実施しています。特に、豊根村では、モデル的な取組として、国道151号線の太和金トンネルから茶臼山高原入口までの沿線を対象に、道路に接する林帯を一定幅で伐採するとともに、危険木を移動・搬出することで、災害に強い森林の整備を進めています。

### ◎取組の成果

令和3年度は、とよね木サイクルセンターから道の駅グリーンポート宮嶋までの区間のうち3kmを整備しました。

### ◎今後の展開

引き続き、計画的に151号線沿いの森林整備を実施し、防災・減災機能を高めていくとともに、この取組を広くPRしていきます。



国道 151 号線 整備前（豊根村）



国道 151 号線 整備後（豊根村）  
※電線や道路に架かる立木を伐採

## 5 目標達成状況

### (1) 新型コロナウイルス対策

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①農業経営改善計画及び青年等就農計画策定（変更含む）の支援	137 件/ 5 か年	27	54	81	108	137	C
		20					
②生産施設整備等への支援	75 件/ 5 か年	15	30	45	60	75	A
		16					
③木材生産における需給調整を効率化するための会議開催	3 回/毎年	3	3	3	3	3	A
		3					

### (2) 意欲ある人材の確保・育成

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①新規就農者数	35 名/ 5 か年	7	14	21	28	35	A
		18					
②新規林業就労者数	35 名/ 5 か年	7	14	21	28	35	A
		8					

### (3) 持続可能な農林水産業の基盤を作る取組の充実

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①新技術の導入又は技術の改善件数	8 件/ 5 か年	1	3	4	6	8	A
		1					
②林道の整備延長	42.3 km /5 か年	8.4	16.9	25.3	33.8	42.3	A
		11.9					
③県産木材年間生産量	104,000 m <sup>3</sup> /5 年後	75,600	82,700	89,800	96,900	104,000	A
		106,067					
④農業生産基盤等の整備更新受益面積	58ha/ 5 か年	12	24	48	58	58	C
		0					
⑤鳥獣被害対策受益面積の拡大	235ha/ 5 か年	48	96	144	190	235	C
		32.85					



#### (4) 農林水産業を理解し身近に感じる活動の推進

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①いいともあいち推進店のPR	24回/毎年	24 ----- 22	24	24	24	24	B
②農林漁業体験やイベント、食育活動等の実施	21回/毎年	21 ----- 19	21	21	21	21	B

#### (5) 災害に強く安全で快適な環境の確保

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①治山対策面積	825ha/ 5か年	165 ----- 198.56	330	495	660	825	A
②農業用ため池の整備か所数	4か所/ 5か年	1 ----- 0	1	3	4	4	C
③あいち森と緑づくり事業の防災・減災による公道沿い森林整備か所数	2か所/ 毎年	2 ----- 17	2	2	2	2	A

#### (6) 地域人口や関係人口によって支えられる活力ある農山村の実現

目指す姿	2025 目標値	上段：目標値 下段：実績値					評価
		2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	
①中山間地域等直接支払交付金を活用した集落戦略の実践に向けた取組	102集落/ 毎年	102 ----- 102	102	102	102	102	A
②各種イベントの情報発信	4回/毎年	4 ----- 4	4	4	4	4	A
③道の駅など地域拠点における年間集客数の確保	1,193千人 /5年後	1,149 ----- 1,286	1,160	1,171	1,182	1,193	A

##### ○評価

- A : 2021 (令和3年度) の目標達成率 100%以上
- B : 2021 (令和3年度) の目標達成率 80%以上 100%未満
- C : 2021 (令和3年度) の目標達成率 80%未満







## 食と緑の新城設楽地域レポート2022

発行 愛知県新城設楽農林水産事務所

〒441-2301 北設楽郡設楽町田口字小貝津6番地2

TEL 0536-62-0545

Webページ (しんせつネット)

<https://www.pref.aichi.jp/nourin-shinshiroshitara/>